

様式第2号（第5条関係）

令和4年1月18日

出張報告書

栗山町議会議長 鵜川和彦様

栗山町議会議員

土井 道子



このたび、下記のとおり出張いたしましたので報告します。

記

- 1 期 日 令和3年11月13日
- 2 研修場所 千葉県船橋市
- 3 目 的 先進地視察「千葉県舟橋市立中央図書館」
・指定管理者制度を導入している公立図書館の実態
- 4 書 類 別紙のとおり



視察先	千葉県船橋市中央図書館
期 日	令和3年11月13日 午後1時から午後3時
会 場	千葉県船橋市中央図書館
対応者	図書館長 矢野 誠一氏
内 容	中央図書館は、船橋駅から徒歩10分くらいの位置にあり、図書館前には高齢者や幼児を連れたお母さんや高校生たちがひっきりなしに往来していた。 対応してくれた矢野図書館長は、多忙のなか2時間にわたって図書館の目標および現状について説明してくれた。 基本的運営方針 1 暮らしの中にある図書館を目指す 2 「調べると学ぶ」を応援する図書館を目指す 3 子供の可能性を伸ばすとしょかんをめざす 4 「ふなばし」の今と昔がわかる図書館を目指す 5 共同と連携を進める図書館を目指す 5つの目標に沿った具体的な内容 ●図書館の組織は教育委員会の生涯学習部に属し、西図書館が図書館の管理運営を統括している 中央図書館・東図書館・北図書館は、平成29年4月から指定管理者 図書館流通センター・野村不動産パートナーズ共同企業体で運営している。また公民館図書室は、図書館の分館的機能を持つ図書館として、図書館の同様のサービスを受けることができる。 ●指定管理者の職員数は、3館合わせて103人、うち中央図書館の司書・司書教諭 27人、司書補は2人である。 ●図書館の組織として、図書館協議会委員10人、年に3回の会議を開催 指定管理者評価委員会7人 年に3回の会議を開催している。 ●サービスの概要 図書資料の貸出し、予約、リクエストの受付、レファレンスサービス、電子書籍サービス、国立国会図書館から図書館向けに送信しているデジタル資料、歴史音源資料の閲覧、視聴することが可能になっている。 また、ハンディキャップサービス、本、雑誌のリサイクル活用、展示、複写サービス、児童サービス、自動図書館車の巡回など多岐にわたって住民へのサービスを多様に行っている。 図書館職員の信条として、来館者へは図書のサービスはもちろんのこと、利用者への挨拶励行と笑顔での対応を常に心がけるように訓示

している。

●貴重資料を利用した出版物、展示

朝日新聞出版「歴史道」船橋市生涯学習部 文化課「船橋市所蔵作品展 椿貞夫と清川コレクション」など定期的にイベントとして紹介している。

「船橋市図書館史料目録 第9集」までを出版 「船橋市図書館資料目録」を発行

●図書館講座

「読み聞かせボランティア入門講座」、「パーキンソン病の話」、「股関節が痛くなる病気について」など、ビジネス支援講座「ビジネス書籍著者とのオンライン講座」、「船橋市の昔を伝える本町通り商店街の昔と今」

●資料収集・除籍

方針、範囲、収集規準など、各分野別、資料別に詳細に明示している。除籍については、理由別、形態、状況別など分別して除籍するようにしている。過去に図書館員が意図的に船橋市出身の著作図書を廃棄したことで、図書館協議会や市民が貴重な資料を今後保存していけるようにと数年かけて収集したことがあった。

寄贈資料の扱いは、出版から5年以上経た実用書、図書館が継続していない雑誌等、汚破損や書き込みの資料など受け入れできない資料を明確にしている。が、受入れ後に寄贈者から返却要請があっても応じないことも明記している。

電話帳や地図、手紙類など、書籍以外の特殊な資料でも将来地域にとって必要となることが予測される場合は、有意義な資料として受入れする。

なお、図書館蔵書として該当しないと判断した時は、リサイクル活用か廃棄処分をする。除籍した本を有効活用するため、利用者や市内公共施設、学校、社会教育団体に無償で提供している。

●職員

図書館職員の配置は、中央図書館は39人で有資格者は29人になっている。そのほかに臨時職員が44人在籍している。図書館事業や選書などは司書の業務であるが、司書の定着率は、あまり高いとは言えない。

職員の資質向上のため、指定管理者である図書館流通センターでは、年に数回研修会を開催し、司書たちは必ず参加するようになっている。

臨時職員は書架に返却する仕事为主であり、配列は開架、閉架とも背表紙の文字が整然と並び、図書が見やすい状態になっている。

館内の閲覧室、児童室などの見回りは、指定管理者の警備員が頻繁に回っている。指定管理を受けている図書館流通センターでは、研

	修には力点を置き、年に数回開かれる研修には、職員は必ず参加するようにしている。 ●連携機関・団体 市民の利用できる大学図書館に日大薬学部図書館が加入している。 図書館で定期的に医療講座を開催のため、船橋市内の医院や医師が協力している。 学校の栄養士たちが、子どもの給食についてや食べ物に関する学習意識を盛上げるため、図書館内で大規模な展示を開いている。
感 想	・職員の定着率が気になったが、カウンターでの対応が素晴らしく友好的で高齢者やお母さんたちの図書館に対する信頼度が伝わってきた ・外国人向けの図書館案内も各国語に分かれて印刷されて、利用しやすい雰囲気伝わって来た ・青少年向け直木賞やパソコン講習会、地域の図書館巡りができる地図サービスがユニークであった